

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和5(2023)年度 第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議		
開催日時	令和6(2024)年2月8日(木) 午前10時から午前10時40分まで		
開催場所	市役所6階 601、602会議室		
出席者	(出席者) 天野好浩、岩田信男、川瀬志乃、竹村 勉、野々山清、早川隼矢、林 潮、渡邊 睦 ※50音順 敬称略 (みよし市)村田副市長 清水経営企画部長、伊藤経営企画部参事、深津福祉部長、加藤こども未来部長、成田市民経済部長、久野都市建設部長、富田教育部長、新美教育部参事、小野田総務部次長兼総務課長、池野防災安全課長 (事務局)山田経営企画部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、岡田主事		
次回開催予定日	令和6(2024)年12月頃		
問合せ先	経営企画部企画政策課 担当 木戸、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
次第	【議題】 1 「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実績検証について 2 「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改正について 【報告事項】 1 みよし市の地方創生に関する報告		
典 礼 山田経営企画部次長	ただいまから、第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を開催いたします。初めに、礼の交換をしたいと存じますので、恐れ入りますが御起立をお願いいたします。一同礼。 私は、典礼を務めさせていただきます経営企画部次長の山田です。よろしくお願い申し上げます。 本会議は、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に基づき、公開対象の会議となっておりますので、あらかじめ御了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本日傍聴者は1名でございます。 本日の創生会議につきましては、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度の実績の検証及び改正、また、本市の地方創生に関する活動報告を行います。 それでは、議事に入る前に一つお願いがございます。本日の議事録はマイクからの録音で作成をしております。御発言の際には、マイクのボタンを押してからの発言をお願いいたします。		

	<p>要綱第4条第1項の規定により、会議の進行は経営企画部長が行うこととなっておりますので、進めさせていただきます。</p>
清水経営企画部長	<p>皆さんおはようございます。 経営企画部長の清水です。よろしくお願いいたします。 それでは、お手元の次第に沿って議事を進めさせていただきます。 まず議題の「(1) みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>企画政策課の木戸と申します。私の方から説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。 議題(1)第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績検証について、説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料1を御覧ください。 「第2期総合戦略」は令和3年度から7年度までの5年間を計画期間とし、3つの基本目標を掲げ、それぞれに、評価指標(KPI)と基本的施策に係る具体的な取組内容とその指標を設定しています。 令和4年度は第2期総合戦略の2年目となり、こちらの報告書は各課の報告を基に作成しています。確認が可能な指標については本年度9月末現在での速報値、及びそれに伴う令和5年度末見込値を掲載しています。 今回は、基本目標の内容と、目標値に対して著しく値の異なるKPIについて抜粋して説明をさせていただきます。</p> <p>資料1ページを御覧ください。「基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくり」です。 若い世代が安心して子育てできるまちを目指すための評価指標として「合計特殊出生率」「出生数」の増加を目指していきます。 まず、評価指標「2出生数」については、令和元年度以降増減を繰り返しながらもゆるやかな減少傾向となっておりますが、令和5年度においては半年で256人が産まれていることから再び復調傾向となっております。 「1合計特殊出生率」については、出生数と1年遅れで計算をしており、最新は令和3年分です。出生数に比例し、令和3年度の実績値は1.48人から1.53人と増加しています。ただし、令和4年度の出生数が再び減少となっていることから、次年度は再び減少に転じていくものと予測しています。 なお、合計特殊出生率の数値を今回修正したいと考えており、後ほど議題2で説明いたします。</p> <p>続いて2ページを御覧ください。「基本的施策① 結婚・子育てに関する支援」です。取組内容欄には、黒丸数字で総合戦略に記載されている取組内容を、その下に計画開始年度である令和3年度以降に新たに取組んできた事業を「・」で記載しております。これらの事業を推進することで各指標の向上を目指します。 本年度は新たに保育料と給食費の無償化等を実施しており、来年度からは新たに高校生世代の医療費無償化を開始する予定です。</p> <p>続いて3ページを御覧ください。「1-3保育園待機児童数」は、24人から55人と、令和3年度から4年度にかけ大幅に増加しました。働く母親の増加や育児休業に伴う退園措置の廃止等の政策により、2歳児までの待機児童が増えていることが原因です。特に、黒笹山手地区の住宅開発に伴い入園申込が大幅に増えていることも主な原因です。</p> <p>続いて4ページを御覧ください。「1-5乳幼児健診受診率」「1-6乳児家庭訪問の割合」については、ともに令和3年度までは新型コロナの感染拡大に伴い</p>

減少傾向でしたが、令和4年度以降上昇しています。

続いて「基本的施策② 学校教育の充実」です。本年度新たにスクールロイヤーやスクールソーシャルワーカーの取組を開始しています。

5ページを御覧ください。「1-7学校が楽しいと思う児童の割合」については、令和元年度以降ほぼ横ばいで推移しており、徐々に目標値と開きが出始めています。また、6ページ「1-11不登校児童」「1-12不登校生徒出現率」については、目標値を上回る割合の出現率となっております。全国的にも大幅な上昇傾向とはなっていますが、今後はさらに児童生徒の満足感や自己肯定感につなげる取組を進める必要があります。

続いて資料7ページを御覧ください。「基本的施策③ 仕事と生活の調和に関する支援」です。本年度から市内2校で「放課後こども教室」を試行的に実施しています。

こちらのKPIについて、「1-13産後ホームヘルプ」「1-14産後ケアの利用者数」をご覧ください。こちらも令和3年度を境に回復傾向となっておりますが、目標値を下回っています。その要因としては対象となる新生児の数の減少や同居家族の在宅勤務の浸透の影響等が考えられます。

続いて、資料9ページを御覧ください。「基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくり」です。多様な世代がいつまでも暮らしたいと思えるまちを目指し、「転入・転出人口比率」「生産年齢人口比率」の増加を目指していきます。

指標1の「転入・転出人口比率」については、年度ごとに増減が繰り返されており、令和4年度は105.2%と転出超過になっています。内訳としては、豊田市、岡崎市からの転入が多く、瀬戸市、日進市、東郷町への転出が多い状況です。

指標2の「生産年齢人口比率」については、ほぼ横ばいで推移しています。

資料10ページ「基本的施策① 多様な世代を誘引する仕組みづくり」です。

本年度新たにプラスチック製品の分別収集開始、中小企業への奨学金返還支援等を実施しています。

資料11ページ「暫定用途地域の面積」「起業・創業件数」「就労者数」については、全て概ね目標を上回る実績となっております。

続いて資料12ページ「基本的施策② 公共交通ネットワークの確保」です。

本年度新たに高齢者等移動支援、デマンドタクシー実証実験等を開始しています。

KPIについては、12ページのとおり、公共交通全体は目標値を下回っているものの、さんさんバスの年間利用者数は令和4年4月の路線再編と新規事業の影響を受け、大幅に増加傾向となっております。

続いて資料13ページを御覧ください。「基本的施策③安全・安心なまちづくり」です。本年度は防犯カメラの増設、マイタイムラインガイドブックの配布を実施しています。

資料14ページをご覧ください。「2-9防災訓練の参加率」「2-12防犯パトロール隊員数」についてはコロナ感染症の影響を受けた令和4年度以降も目標値を大幅に下回っている状況から、今後地域住民の活動を活発化させる取組が必要となります。

続いて資料15ページを御覧ください。「基本的施策④ 魅力と活力のあるまちづくり」です。

市民が自分のまちに誇りと愛着を持ち、新たな魅力発見ができる環境づくりを進めます。

	<p>続いて、資料18ページを御覧ください。「基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり」です。市民が健康で生涯を通じて活躍できるまちを目指し、「健康寿命」「成人のスポーツ実施率の割合」の増加を目指します。</p> <p>指標1と2の「健康寿命」については、男性は令和4年に向け上昇傾向です。女性については、目標年齢を上回っているものの、令和4年は下降傾向にあります。全国的に見ると、令和3年度から4年度はコロナの拡大に伴う死亡率上昇により男女共に低下している状況です。</p> <p>指標3「成人のスポーツ実施率」の割合についても、昨年度に引き続き実施率が伸び悩んでおり、目標値を大幅に下回っています。年齢別では若い世代の実施率が低いため、それら対象者へのPRや誰もが運動しやすい環境整備を進める必要があります。</p> <p>資料19ページを御覧ください。「基本的施策① 多様な世代を誘引する仕組みづくり」です。本年度新たにワクチン接種事業、若年がん患者在宅療養支援事業等を開始しています。</p> <p>20ページを御覧ください。「健康アプリ登録者数」、「介護予防教室参加者数」は目標値を下回っているものの、上昇傾向にあります。</p> <p>21ページの「トレーニングルームの年間利用者数」については、本年度大規模改修工事の影響を受け目標値を大幅に下回っております。</p> <p>資料22ページを御覧ください。「基本的施策② 生涯活躍できるまちづくり」です。住み慣れたまちで健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めていきます。「3-9 認知症サポーターの養成人数」については、増加率はわずかではありますが上昇傾向となっております。</p> <p>資料1の説明は以上となります。</p>
清水経営企画部長	それでは、ただいまの説明に対して御質問や御意見等がございましたらお願いいたします。
野々山氏	<p>JAあいち豊田三好支店の野々山と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>2ページやその後のページにも掲載されている「結婚・子育てに関する支援」の「結婚新生活支援補助金」について、私も最近知ったのですが、高額な金額の補助であり、私の娘は結婚して子どももいますが、そういう30代や20代が聞いても興味を示す取組になっています。</p> <p>予算算の兼ね合いもあると思いますが、今後についてどのように考えているのか少し伺いたいと思います。</p>
加藤子ども未来部長	<p>子ども未来部長の加藤です。</p> <p>こちらは令和4年度から始めた事業であり、令和5年度からは補助金の額も上げています。国が実施しているものを本市においても実施しているというものでございまして、今後についても引き続き実施していきたいと考えています。特に令和6年度に補助金額を上げる、年齢制限を上げるという予定はありませんが、引き続き実施していきたいと考えています。</p>
野々山氏	ぜひとも増額をお願いしたいと思います。
清水経営企画部長	<p>その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、御質問等ないようですので、続きまして、議題「(2)みよし市まち・ひと・しごと総合戦略の改正について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題2「総合戦略の改正について」説明させていただきます。</p> <p>資料2-1の1ページを御覧ください。</p>

	<p>こちらは、下線の部分が改正内容となります。この1ページ目では、「合計特殊出生率」の基準値と目標値を共に修正したいと考えております。</p> <p>資料右下の参考という図を御覧ください。</p> <p>本来、「合計特殊出生率」は右下枠内の式のとおり、15歳から49歳までの女性の人口を分母、その年代の母親が産んだ子どもの数を分子として割り返した値となります。</p> <p>この分母の母親の数え方として、これまでは外国人を含んでおりましたが、今後は日本人のみをカウントする形に修正することで、基準値及び目標値共に修正したいと考えております。</p> <p>これまで、外国人をカウントしていたのは、本市の人口ビジョンに外国人人口が含まれること、また、外国人の増減の人口への影響は大きいと考えていたためです。</p> <p>ただし、国、厚生労働省や県では「日本国籍の母親のみ」を分母として計算しており、本市の計算方法が異なることで他自治体との比較に支障が出るという理由から、今回新たに定義の考え方を変えるとともに基準値と目標値を修正したいと考えております。</p> <p>続きまして、資料2ページを御覧ください。ここからの部分については、新たな取組ということで提案させていただきたいと考えております。</p> <p>総合戦略は、この後議題3で説明をさせていただく「企業版ふるさと納税」を行うための「地域再生計画」の元となります。総合戦略策定後に新たに進められることとなった「ゼロカーボンシティ」や「デジタル推進」についても、企業版ふるさと納税のプロジェクトとして掲げていくため、今回取組内容の追加の提案をさせていただきます。</p> <p>まず、ゼロカーボンについては、2ページ「基本目標Ⅱ」の「基本的施策①」の取組内容として、新たに「企業向け脱炭素経営支援」の追加を行います。</p> <p>続いて3ページをご覧ください。そのKPIとして「産業部門の二酸化炭素排出量」を追加し、具体的な事業として「ゼロカーボンシティ推進事業」を加えたいと考えております。</p> <p>また、デジタル推進については、3ページの左下に記載のとおり、「デジタルを活用した」市の魅力の発信の取組を追加させていただきたいと考えております。デジタルにつきましては、KPIの修正は行わないものとなります。</p> <p>そして、お配りしております資料2-2は、こちらの3項目の改正内容を反映した案となっております。</p> <p>ただいま御説明をした内容を追加させていただくとともに、「子ども」の表記を漢字から平仮名に変更しております。</p> <p>説明は以上です。</p>
清水経営企画部長	<p>それではただいまの説明につきまして、御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。</p>
野々山氏	<p>3ページ目下段の取組内容①に、「デジタルや地域資源を活用した魅力の発信」とありますが、デジタルは私の中で方策という捉え方をさせていただいており、この「地域資源」と「デジタル」という用語が並列で並ぶことに少し違和感を感じているのですが、どうでしょうか。</p> <p>要するに地域資源についてもデジタル化とか、そういう中で捉えられると思うので、これが並列で並んで、いかにも何か方策の一つのような形になるのはどうかかなと思いました。</p>

山田経営企画部次長	<p>先ほど木戸の方からも説明をさせていただきましたが、企業版ふるさと納税の関係で、「まち・ひと・しごと総合戦略」に記載のあるものを企業版ふるさと納税の対象とするということもございまして、このデジタルの部分につきましては、来年度から本市のメタバース空間を利用した施策を考えております。</p> <p>メタバースというのは、御存知の方もいらっしゃると思いますが、デジタル空間の中に自分の分身となるアバターを設定して、話をしたり、様々なことをすることができます。みよし市が作ったメタバース空間にスマートフォンやパソコンを使って入ってきてもらい、みよし市のことを知ったり、みよし市の人と出会ったり、あるいは引きこもりの人は人と会うのが難しいということで、デジタル空間の中でアバターを通して会話をしたり、悩みを聞いてもらったりということを来年度実施しようと考えています。</p> <p>そちらの事業について、企業版ふるさと納税で寄附をいただきたいということで、今回「デジタル」という部分を追加させていただきました。</p> <p>野々山委員がおっしゃられた地域資源の中にデジタルも含まれるのではないかというお話について、もちろんそういう部分もありますが、企業版ふるさと納税の関係で、あえてこちらに「デジタル」という言葉を追加させていただいたというところが経緯でございます。よろしかったでしょうか。</p>
野々山氏	<p>ありがとうございます。</p> <p>メタバース等当然あるのだらうと思うのですが、シティブランディングという中で、地域資源の活用というのが主だと思うので、そういう中で一つの手法としてメタバース等を活用して発信していく、という表現の方が分かりやすいのではないかなと思いましたので、一つお願いしたいと思います</p>
山田経営企画部次長	<p>ありがとうございます。こちらの方、表現方法を事務局で検討させていただきたいと思います。</p>
清水経営企画部長	<p>その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、御質問等ないようですので、続きまして、報告事項(1)「みよし市の地方創生に関する報告」について、事務局から説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>報告事項 ア「みよし市企業版ふるさと納税制度」について報告をさせていただきます。</p> <p>資料3をお開きください。表紙の反対側である左側が制度の概要となります。</p> <p>この制度は、一般の個人で行うふるさと納税とは違い、返礼品制度は設けていない形ですが、市の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に最大9割の法人税が税額控除される仕組みとなっています。なお、寄附できる企業はみよし市外に本社がある企業に限られます。</p> <p>資料裏面左側を御覧ください。寄附を行った企業が得られるメリットとして、寄附金額に応じて、市ホームページ等での周知、お礼状の贈呈、広報みよしでの企業紹介等のメニューを設けています。</p> <p>「寄附対象事業」に記載している6つの事業は、本年度の重点プロジェクトとして掲げた事業です。</p> <p>本年度の実績としては、今お申し出いただいている企業も合わせ3社から210万円の御寄附をいただいています。</p> <p>続きまして、報告事項 イ「SDGs」について活動報告をさせていただきます。</p> <p>資料4-1の1ページを御覧ください。令和4年4月に募集を開始した、SDGs推進パートナーについては、先月末現在で73者となっております。</p> <p>2ページを御覧ください。本年度の活動状況です。</p> <p>4月及び12月にパートナーの方々との交流会を開催し、グループディスカッショ</p>

	<p>ンを実施しました。その後、5月にオオキンケイギク駆除活動への参加、同じく5月からこの後で御紹介するSDG s コンテスト協賛企業の募集を行い、11社の皆様から御協賛をいただきました。</p> <p>3ページを御覧ください。7月及び1月にはパートナーを対象としたセミナーを開催し、10月にはNPO法人みよしの自然環境を守る会主催のイベントでのパネル展示、11月には株式会社パイロットコーポレーションとの使用済みペリササイクルを開始しました。</p> <p>続いて4ページをご覧ください。11月に名古屋グランパスエイトと共催でウォーキングサッカー交流会を開催しました。</p> <p>続いて5ページを御覧ください。来年度の活動予定です。本年度実施の事業と同様の取組を継続するとともに、新たな取組として1月にSDG s フェスタを開催し、パートナーと協働して企画・運営を行っていきたくと考えております。</p> <p>資料4-2「SDG s フォト&ムービーコンテスト」についてはモニターで説明させていただきます。今回の「コンテスト事業」についても昨年度に引き続き、市の主事級職員と東海学園大学の学生で構成する第3期プロジェクト「MIYOSHI みらい創造プロジェクト」が、企画と運営を進めてまいりました。</p> <p>続いてプロジェクトの取組状況です。本年度は「フォト&ムービーコンテスト事業」の運営に向けた検討を5回の会議の中で行いました。また、コンテスト事業の啓発活動として東海学園大学の学生が講師となり市内小学校での出前講座を実施しました。こちらは、講義やグループワークの様子です。</p> <p>続いてコンテストの概要です。今回の募集作品は、「市内で撮影したSDG s のゴールを意識するきっかけとなる作品」で、市民を対象に7月から10月まで募集を行いました。本年度も小学生から多くの応募があり、応募点数は総合計で192点となりました。</p> <p>審査については、全作品を対象にプロジェクトチーム員が一次審査を実施、その後、第二次審査として、市の幹部職員で構成する本部会議において「市長賞」「教育委員会賞」を選定し、共催者である東海学園大学、協賛企業11社がそれぞれ各賞の審査を行いました。</p> <p>ここからは受賞作品です。まず、みよし市長賞が2点、東海学園大学学長賞が2点、小中学生のみを対象とした教育委員会賞が4点、以下、協賛企業賞として、カネヨシ賞、森島製作所のフォレストアイランド賞、豊田信用金庫賞、ひまわりネットワーク賞、特別養護老人ホーム安立荘のハチドリチャレンジ賞、あいおいニッセイ同和損保賞、ラジオ・ラビースト賞、イオン三好ショッピングセンター賞、アリナ株式会社のアリナ賞、中北薬品株式会社のこれではなく茶活命茶賞、株式会社シンテックホズミ賞、以上合計19点です。</p> <p>なお、こちらの受賞者に対しては、先週末2月3日土曜日に表彰式を行いました。こちらが表彰式当日の様子です。2人の欠席者を除く17人に授与を行いました。</p> <p>最後に、SDG s フォトコンテスト作品展をイオン三好ショッピングセンターで2月13日から開催する予定です。また、2月17日(土)には東海学園大学との共催でワークショップを開催する予定です。お時間等ございましたらぜひお立ち寄りいただけますと幸いです。</p> <p>以上でSDG s フォト&ムービーコンテストの報告を終わります。</p>
清水経営企画部長	ただ今の説明について、質問、意見等がありましたらお願いします。
早川氏	東海学園の早川と申します。 資料を拝見させていただき、お話を聞かせていただきました。SDG s のセミナー、ウォーキングサッカー交流会、あとは来年度活動予定のワークショップ、

	<p>あと本学の東海学園大学との連携でのイベントを開催されるということでした。そういったイベントは市民の方がSDG sについて触れる機会が得られますし、イベントを通して運動する機会ももちろん得られます。そのため、そういった魅力的なイベントは、すぐく市民の方のためになりますし、社会のためにもなると思いますので、積極的に開催していければいいなと私は思います。</p> <p>そういったイベントというのは、市民の方の参加を促すことが大事だと思うのですが、どういった方法で市民の方に発信していくのか、どういったことで多くの参加者を呼び込めるのかということが少し気になったのですが、そういった心がけていることとというか、力を入れていることというのは何かありますか。</p>
山田経営企画部次長	<p>ありがとうございます。</p> <p>言われた通り、やはりSDG s推進という中で、参加してもらってのイベントというところもございますので、ホームページあるいは広報でも発信していますし、SNS、インスタグラム等、市の方でもアカウントを持っておりますので、そういったものを活用しています。</p> <p>また、来年度につきましては、LINEも使っていくことを予定しておりますので、そういったあらゆるものを使ってできる限り広く、皆さんに発信していきたいと考えております。</p>
清水経営企画部長	<p>その他ございますでしょうか。</p> <p>それでは、御意見等ないようですので、議題の方は終了させていただきます。</p>
典 礼 山田経営企画部次長	<p>長時間にわたりまして、御審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を終了いたします。</p> <p>では、最後に礼の交換をしたいと存じますので、恐れ入りますが、御起立をお願いいたします。</p> <p>一同礼。ありがとうございました。</p>